

《 目 次 》

- トピックス
  - ・「畑の学校」開校しました
  - ・「おいしい ふくしま いただきます」春キャンペーンを開催しました
  - ・企業の森林(もり)づくり協定が締結されました
  - ・盛況!南会津木材市
  - ・緑の少年団が募金協力を呼びかけ!
  - ・管内町村農林担当課長等会議を開催しました
  - ・カスミソウの出荷が始まりました
  - ・代表監査委員による現地調査が行われました
  - ・南会津ふるさとワークステイ事業
    - 受入農家交流会を開催しました
  - ・会津田島駅に看板、アスパラ鉢を設置しました
- 農林事務所からのお知らせ
  - ・ふくしまの恵み安全・安心協議会からのお知らせ
  - ・相続などによる森林の土地の所有者届出制度について
  - ・農薬の適正使用について

平成26年6月20日発行 福島県南会津農林事務所

「おいしいふくしまいただきます」  
春キャンペーンを開催しました

県では、県産農林水産物への風評被害の払拭と旬の農林水産物の消費拡大を目的として、「おいしい ふくしま いただきます!」キャンペーンを県内各地で開催しています。

南会津農林事務所では、6月1日(日)に道の駅たじまにおいて春キャンペーンを開催し、旬の「会津田島アスパラ」をPRしました。

「会津田島アスパラ」は、南会津地方の昼夜の寒暖差のある環境で育てられ、太く、香り高く、甘みの凝縮された歯ごたえのある味わいが特徴です。また、この時期限定でグリーン・ホワイト・パープルの3色を揃えて出荷するなど全国的に珍しい産地でもあります。

なお、現在、「南郷トマト」のように地域団体商標取得を目指した準備を進めているところでもあります。

当日は、炭火焼きアスパラ、アスパラを練り込んだクグロフの試食品の提供を行い、試食されたお客様からは好評をいただきました



抽選会や試食で賑わいました

また、抽選会も行われ、3色の旬の会津田島アスパラや、アスパラの加工品がプレゼントされました。

さらに、地元で人気の、南会津町の公式キャラクター「んだべえ」と、お友達の「キビタン」がキャンペーンの応援に駆けつけてくれました。

これからの季節は、春野菜に続き、南郷トマトやナス、きゅうりなどの夏野菜が旬を迎えます。今後も同様のキャンペーンを開催いたしますので、御来場お待ちしております! (企画部)

# 南会津 のうりんニュース

ふくしまからはじめよう。

「食」と「ふるさと」新生運動

## トピックス

### 「畑の学校」開校しました

「ふくしまの農育」推進事業として、「農業・農村地域の大切さ」、「環境の大切さ」、「食・命の大切さ」への理解を深め、豊かな感性と深い見識を持った子どもたちを育てることを目的に、只見町立只見小学校の1年生から4年生までの計37名の児童を対象に、3年目の「畑の学校」が開校しました。

開校にあたり、今年も畑を提供してくださった五十嵐さん、小学校の先生、保護者の皆様方の御協力に感謝申し上げます。また、校長先生からは、「畑の学校」を昨年経験した児童たちが、今年も楽しみにしているとのお話しがありました。

まず、開校式後には、学年ごとに分かれて、畝づくりから始まり、マルチかけ、種まきや苗植えまでを約1時間半かけて行いました。

実際に作業が始まると、校長先生の言葉通り、たくさんの子供たちが目を輝かせて、畑の応援団(教員、保護者、



一生懸命に苗を植える子どもたち

南会津農林事務所職員)の説明を聞いて、最後の後片付けまで、軍手や長靴を泥で汚しながらも一生懸命に作業していました。

今後も、生き物調査や収穫祭があるので、農作物の成長過程や生き物とのつながりなど児童それぞれの視点で興味を持って、『食』のありがたみを感じてもらえれば幸いです。(農村整備部)

## 企業の森林（もり）づくり協定 が締結されました

南会津町、陸奥テックコンサルタント株式会社（郡山市）、福島県の3者による「企業の森林（もり）づくり協定締結式」が5月1日（木）に南会津町の会津高原ホテルにおいてとりおこなわれました。

「企業の森林（もり）づくり」とは、社会貢献活動に関心の高い企業等が環境保全のために森林整備や地域との交流等を行うもので、県民1人ひとりが参画する新たな森林づくりとして県も支援しています。

今回の協定は、陸奥テックコンサルタント株式会社からの申し出を受け、フィールドの選定や森林整備方法について県がコーディネートし、南会津町の賛同が得られたため、八総地区の町有林をフィールドとして南会津町としては初となる森林整備活動を実施することとなったものです。

当日は、大宅南会津町長、陸奥テックコンサルタント伊藤社長、加藤南会津農林事務所長が協定書を取り交わした後、協定締結を記念して企業の森林フィールド



記念植樹（前列右から大宅南会津町長、伊藤陸奥テック社長、加藤農林事務所長）

において記念植樹を行いました。南会津地方では、平成22年度に下郷町で行った福島県トラック協会との協定締結に続く2件目の企業の森林（もり）活動となり、今後更に活動の輪が広がることが期待されます。（森林林業部）

## 盛況！南会津産木材市

6月5日から12日にかけて「南会津産木材市」が開設され、スギやカラマツ、クリなど12種類の地元材が、会場のだいくらスキー場駐車場土場に並びました。

震災後の平成23年からはじまった木材市も今回で7回目を迎え、出材量も目標の600m<sup>3</sup>を上回る673m<sup>3</sup>と盛況な市となりました。

木材市を主催する南会津地方木材安定供給連絡会議では、今後、造材技術の向上を図るための研修会を開催する計画です。

南会津産の木材が県内外での復興住宅や一般木造住宅などに広く活用されることを期待するとともに、良質の木材を出荷し南会津の森林・林業をPRしたいと考えております。



木材市会場の様子

8月と10月にも、だいくらスキー場駐車場で木材市を開催する予定ですので、興味のある方は、土場開設期間中に是非一度ご覧ください。（森林林業部）

## 緑の少年団が募金協力を呼びかけ！

5月2日に南会津町立田島第二小学校緑の少年団の協力により、南会津地方緑化推進委員会主催の「緑の募金」街頭募金を実施されました。

田島第二小学校緑の少年団は南会津郡唯一の緑の少年団として、昭和56年度より継続した活動を行っており、街頭募金活動や地方植樹祭への参加など、校内はもとより地域の緑化推進に貢献しております。

当日は、春らしい穏やかな日差しの中、会津田島駅前などにおいて子供たちの元気な呼びかけにより、



会津田島駅前で行われた街頭募金

多くの方の善意をいただくことができました。

また、街頭募金実施後には、緑の少年団に緑への関心を高めてもらうことを目的に田島高等学校の学校林において自然観察会を行いました。

寄せられた募金は、地域の緑化や緑の少年団の活動支援等に活用されます。春季緑の募金への御協力ありがとうございました。（森林林業部）

## 管内町村農林担当課長等会議を開催しました

新年度における当事務所の事業概要等を説明するため、管内4町村の農林担当課長及び農業委員会事務局長、JA会津みなみ営農課長の出席のもと、4月22日（火）、南会津地方広域行政センターにおいて管内町村農林担当課長等会議を開催しました。

会議では、平成25年3月に策定した福島県農林水産業振興計画「ふくしま農林水産業新生プラン」に基づく当事務所の重点施策について、当事務所の担当部長等から昨年度の実績及び今年度の事業計画について説明を行うと

ともに、東日本大震災及び新潟・福島豪雨災から3年を経過した管内農林水産業を取り巻く状況について、出席者間で活発な意見交換が行われました。



管内町村農林担当課長等会議の様子

農林事務所では今年度、「信頼」「スピード感」「信念」の3つのSをキーワードに、町村や関係機関等と連携を図りながら、復旧・復興、そして風評払拭に向けて取り組んでまいります。（企画部）

## カスミソウの出荷が始まりました

6月5日、今年も待ちに待った田島花卉部会のカスミソウ出荷が始まりました。南会津は知る人ぞ知る、昭和村に次ぐカスミソウの産地です。

3月後半の雪解けが始まった頃からほ場の準備を始め、4月には早期出荷に向けた新技術の栽培指導会、5月には花き業界の情勢や市場要望、市場に出荷されている全国各地の花等を確認するため、市場視察研修を行いました。さらに、市場から要望の多いS規格の小ぶりのカスミソウを栽培するための講習会や出荷会議等を開き、今年度の出荷準備を行ってきました。

これらの取り組みや念入りなほ場の管理などにより、少雨等の天候不順にもかかわらず昨年度並の出荷開始時期となりました。今年度は新規栽培者も増え、ますます部会員の意欲は高まっています。これから11月まで出荷は続き、スターチスやヒマワリなど他の花とともに各地の取引市場へ出荷されます。それらの市場を経由した田島花き部会の花は、多くの地域で南会津のきれいな花として飾られます。（農業振興普及部）



出荷を迎えようとしているカスミソウ

## 代表監査委員による 現地調査が行われました

5月13日（火）、地域産業6次化実践事例現地調査のため、美馬武千代代表監査委員ほか2名が、土っ子田島ファーム（南会津町田部）を訪れました。

現地調査では初めに、加工部門を担当されている湯田浩和さんから、同ファームの概要のほか、花きと味噌加工を通じた周年経営・周年雇用の取組について説明が行われました。

その後行われた意見交換の中で、美馬代表監査委員からは、「売れる商品づくりのため、生産者は感度を研ぎ澄まさなければならない」「行政には、地域産業6次化全体のコスト縮減につながる分野に補助金を交付する仕組みづくりを期待している」など、地域産業6次化を展開していくための建設的なアドバイスをいただきました。（企画部）



湯田浩和氏（中央左）から加工等について説明いただきました

## 南会津ふるさとワークステイ事業 受入農家交流会を開催しました

「南会津ふるさとワークステイ事業」（※1）が6月から始まるのに伴い、受入れ農家等関係者に対し、事業説明会及び受入農家交流会を開催しました。

昨年度5名だった受入農家が今年度は15名に拡大し、新しく受入農家になった方と、昨年参加している受入農家さんとの間で、「農林業後継者を育てたい!」「田舎暮らしを体験させたい」等、活発な意見交換が行われました。

（※1）南会津ふるさとワークステイとは？

農林業や農山村に関心のある人が、受入農家に、宿や食事を提供してもらう代わりに、農林業の仕事を手伝うものです。

当事業に興味・関心があり、受入農家として参加してみたい方は、南会津農林事務所企画部（0241-62-5252）までご相談ください！（企画部）

## 会津田島駅に看板、 アスパラ鉢を設置しました

現在、会津田島駅には、南会津の農産物や特産品を紹介した南会津農林事務所特製看板と南会津特産のアスパラ鉢が設置されています。

看板は駅を利用される方に南会津の四季折々の農産物や特産品を広くPRするために駅のご協力により設置しました。

またアスパラ鉢はふくしまプレデスティネーションキャンペーンに関連して、駅のホームに観光客の皆様をお迎えするため、JA会津みなみ様のご協力により展示されています。

南会津を訪れる一人でも多くの方に、南会津の魅力を知っていただければと考えています。駅をご利用の際には、改札を抜けてすぐ左手にある看板とアスパラをぜひご覧下さい。（企画部）

## 相続などによる森林の土地の 所有者届出制度について

平成23年の森林法改正により、平成24年4月以降、森林の土地の所有者となった方は、市町村長への事後届出が必要となりました。個人か法人かを問わず、相続や売買、贈与、法人の合併などにより、県が作成する地域森林計画の対象となっている森林の土地を新たに取得した方は、所有者となった日から90日以内に、取得した土地がある市町村に届出を行ってください。

面積の基準はありませんので面積が小さくても届出の対象となります。ただし、国土利用計画法に基づく土地売買契約の届出を提出した場合は不要です。

詳しくは、所有者となった土地がある町村役場の林務担当、または県の農林事務所森林林業部(0241-62-5373)までお問い合わせください。(森林林業部)

## 農薬の適正使用について

農薬危害防止運動が6月10日から9月10日まで展開されています。

県内でも農薬の管理不良による誤飲や使用時の周辺への飛散、農薬の残留基準超過などの事例が依然として散見される状況にあります。

農薬は鍵をかけて保管することや、農作物の生産ほ場はもとより家庭菜園や環境整備等で農薬を使用される場合にも、使用薬剤の注意事項等を確認された上で安全な使用を心がけてください。

例えば!!農薬の適用作物ひとつを見ても、「トマト」と「ミニトマト」や「キャベツ」と「メキャベツ」は異なるものになりますので注意が必要です。(農業振興普及部)



駅に設置された看板と、アスパラの鉢

## 農林事務所からのお知らせ

### ふくしまの恵み安全・安心協議会 からのお知らせ

当協議会では農産物の信頼向上と安全・安心の確保のため、園芸品目における簡易分析装置を活用した放射性セシウム測定 of 自主検査を今年度も実施しています。是非積極的な御活用をお願いします。(農業振興普及部)

## 検査概要

### 1 検査対象品目及び検査対象外品目

検査対象品目	検査対象外品目
園芸品目 (出荷販売用に限る) 栽培された山菜	野生きのこ・山菜 栽培きのこ 野生鳥獣

### 2 検査場所

場所	住所	電話番号
JA本店	南会津町田島字行司 76	0241-63-1174
JA西部地区 営農課	南会津町宮床字川久保 22-1	0241-72-2554

### 3 問い合わせ先

※検査の詳細、手続きについてはこちらまでお願いします。

下郷町産業課農政係	(0241-69-1188)
只見町農林振興課	(0241-82-5230)
南会津町農林課	(0241-62-6220)

## お問い合わせはこちら

福島県南会津農林事務所 企画部 地域農林企画課  
〒967-0004 福島県南会津郡南会津町田島字根小屋甲4277-1  
ホームページ <http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36250a>  
電話 0241-62-5252 FAX 0241-62-5256



みなさんのご意見・ご感想を  
お寄せください。